

いのちとくらしをまもる
防災減災令和3年1月19日
国土交通省中部地方整備局
飯田国道事務所E69 さんえんなんしん 三遠南信自動車道(飯喬道路) いいだか 天龍峡IC ~ てんりゅうきょう 龍江IC たつえ

開通1年後の整備効果について

1. 概要

三遠南信自動車道(飯喬道路)天龍峡IC~龍江IC(延長4.0km)は、令和元年11月17日の開通後、天龍橋大橋区間で約2,400台/日に利用されています。

今回、開通1年後のストック効果をとりとまとめましたので、お知らせします。

ストック効果

① 観光の活性化

地域の観光施設整備と相まって、天龍峡PAの県外来訪者が約3割増加

② 災害に強い道路機能の確保

令和2年7月豪雨被災箇所を迂回し、リダンダンシー効果を発揮

③ 安全性の向上

龍江IC付近の焼却施設利用等、ドライバーの負荷が軽減

2. 資料 別紙1:三遠南信自動車道飯喬道路の概要

別紙2:開通1年後の交通状況

別紙3~5:ストック効果

3. 資料配付先

中部地方整備局記者クラブ、長野県会見場、飯田市役所記者クラブ

4. 問い合わせ先

国土交通省中部地方整備局飯田国道事務所

副所長 たなか 田中 ともり 智徳

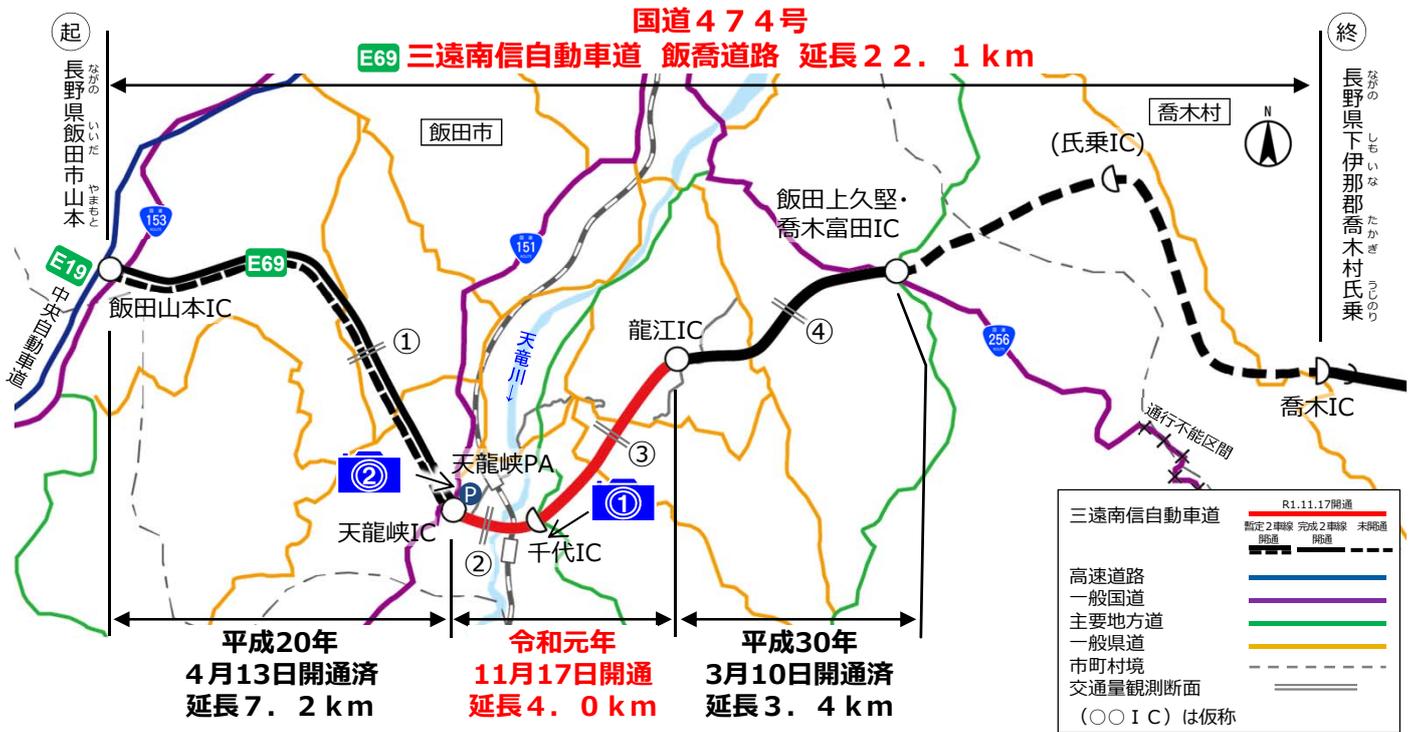
計画課長 ふくだ 福田 よしのり 佳典

TEL:0265-53-7204 FAX:0265-53-7211

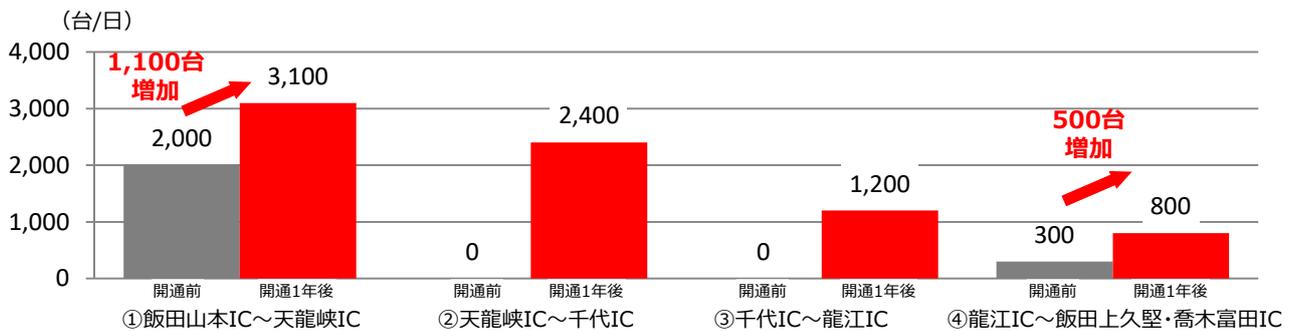
道路の異状を発見したら・・・道路緊急ダイヤル **#9910** (通話料無料・24時間受付)

開通1年後の交通状況

- 天龍峡IC～龍江IC間(延長4.0km)が令和元年11月17日に開通
- 天龍峡大橋の開通1年後の交通量は約2,400台/日
- 既に供用している飯田山本IC～天龍峡ICでは、開通前後で約1,100台/日増加



<開通前後の交通量>



開通前：令和元年11月6日(水)7時～翌7時
 開通1年後：令和2年11月17日(火)7時～翌7時

<開通後の利用状況：天龍峡IC～千代IC間>



(R2.11撮影)

<開通後の利用状況：天龍峡PA>



(R2.10撮影)

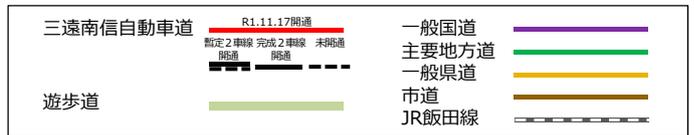
観光の活性化

- 三遠南信道の天龍峡大橋は、名勝天龍峡に架かる橋であり、道路整備に合わせ地域活性化を図るため、飯田市において「そらさんぽ天龍峡」等の観光施設を整備
- 天龍峡大橋に整備された「そらさんぽ天龍峡」は、天龍峡を周遊する遊歩道の一部となっており、約1,700人／日に利用されている人気観光スポット
- 地域の観光施設整備と相まって、天龍峡PAの県外来訪者が約3割増加

■三遠南信自動車 天龍峡大橋周辺の観光施設



(R2.11撮影)

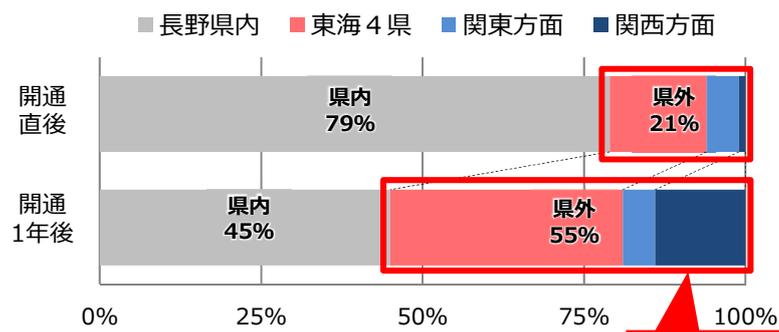


<天龍峡大橋開通に合わせて整備された観光施設>



※R2.10.25、R2.11.1の2日間平均（休日）

<天龍峡PAの利用者内訳>



開通直後：R1.11.23ヒアリング調査結果（N=143）
 開通1年後：R2.10.25、R2.11.1ヒアリング調査結果（N=225）

県外来訪者が約3割増加

<飯田市産業経済部観光課職員の声>

- ・天龍峡大橋開通以降、天龍峡温泉交流館の利用者数が1割～2割増加しています。
- ・天龍峡大橋を訪れた方には、新たに整備した「そらさんぽ天龍峡」、「遊歩道」、「よつて館天龍峡」等の観光施設を利用していただきたいです。
- ・三遠南信道の開通により、新たに県外からの修学旅行先として採用される等、**県外からの観光客が増加**しています。



災害に強い道路機能の確保

- 令和2年7月豪雨災害で、^{やすおか}泰阜村へアクセスする県道の複数で通行止めが発生し、一部は未だ復旧時期が未定の状況
- ^{やすおか}飯喬道路が泰阜村へのアクセス道路として機能し、リダンダンシー効果を発揮

令和2年7月豪雨災害時の通行止め状況



<通行止め状況>

通行止め箇所	原因	規制時間
(主)天竜公園阿智線	災害(法面崩壊)	R2.7.7～復旧未定
(主)下条米川飯田線	災害(路肩崩壊)	R2.7.1～(大型車規制中、復旧未定)
(一)栗野御供線	災害(路肩崩壊)	R2.7.1～R2.10.2
(主)阿南根羽線	災害(路肩崩壊)	R2.7.2～R2.10.28
(一)深沢阿南線	雨量通行規制	R2.6.30 18:00 ～R2.7.2 8:30
(一)為栗和合線	雨量通行規制	R2.6.30 17:30 ～R2.7.2 17:00

<(主)天竜公園阿智線 法面崩壊>



(R2.7撮影)

<(一)栗野御供線 路肩崩壊>



(R2.7撮影)

<泰阜村職員の声>

・今回の開通後、泰阜村のパンフレットに千代ICを経由した案内に見直ししました。

・国道151号沿線への市町村には天竜公園阿智線や下条米川飯田線を利用していましたが、令和2年7月の豪雨災害により、どちらも通行止めになりました。

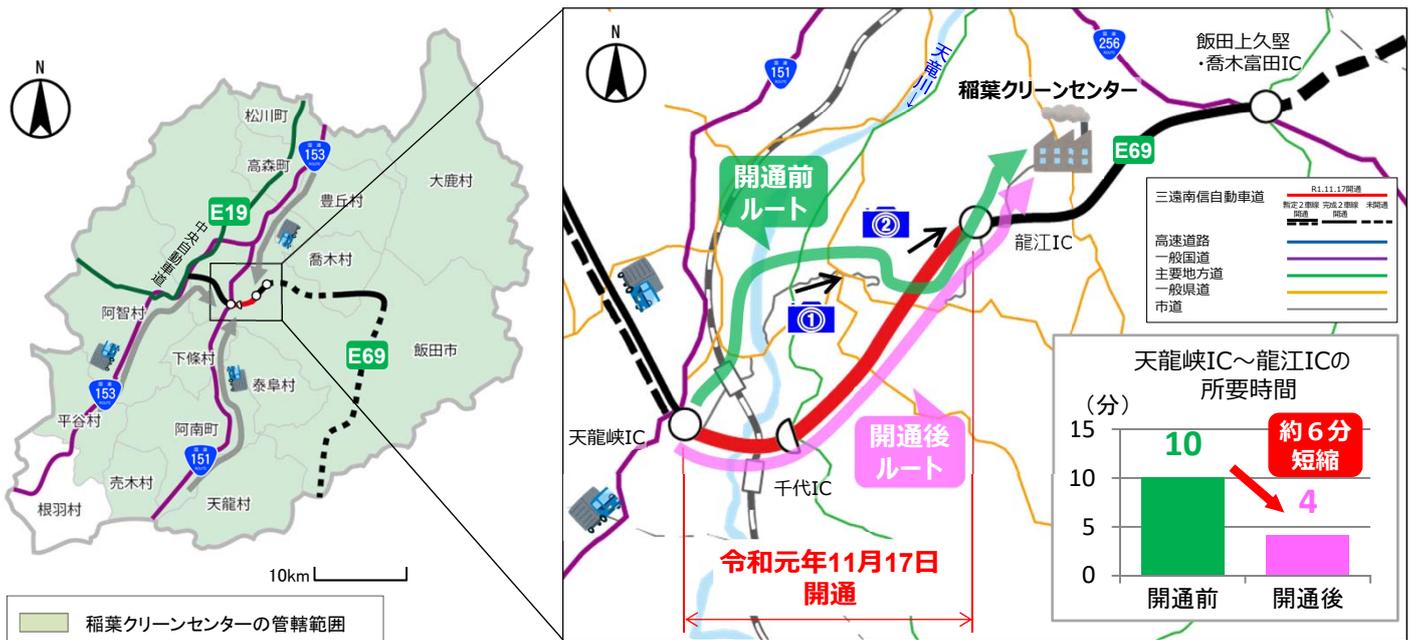
・天龍峡IC～龍江ICの開通により、千代ICを利用する迂回ルートができたため、大きな影響はでませんでした。



安全性の向上

- 南信州地域13市町村から発生するごみは、狭い市道を利用し、三遠南信自動車道沿線の焼却施設に収集
- 天龍峡IC～龍江ICの開通により、運搬時間が6分短縮すると共に、ドライバーの負荷が軽減され安全な走行に寄与

■稲葉クリーンセンターへの走行経路



<開通前：狭隘区間を走行するごみ収集車>



(R1.9撮影)

<開通後：安全性の高い道路を走行>



(R2.9撮影)

<稲葉クリーンセンター職員の声>

- ・飯喬道路龍江ICを利用することで稲葉クリーンセンターまでの所要時間が5～10分程度短くなりました。
- ・開通前は、地元の小学校や幼稚園の通学を避け、狭隘区間を運搬ルートとしていたが、より走りやすく安全性の高い飯喬道路を走行することができるため、とても助かっています。
- ・近年持ち込みゴミが増えているが、飯喬道路を利用するルートを周知することで一般の方の利用性も向上していると感じています。

